

一般質問 ママが聞きたい!

町政を問う



一般質問は、町の行政全般にわたって理事者の施政を問うことができる基本的な権利です。紙面の都合上すべてを載せることはできませんので、一部を掲載します。

※質問及び答弁の詳細については、会議録をご覧ください。なお会議録につきましては、12月上旬に町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページに掲載する予定です。

● 乾 浩之 議員 ●

小中学校に冷房、扇風機を設置しては

問 今年の夏は連日の猛暑で、熱中症による死者が例年より大幅に増えています。熱中症を予防するために、冷房施設の整備が必要ではありませんか。予算面を考えると早急な対応は難しいものと思われまますので、応急措置として扇風機を設置してはいかがでしょうか。

理事者 熱中症を初め、子どもたちの健康と安全を守り、また学習効果を考えれば、冷房設備は必要と考えます。しかし、厳しい財政状況や近隣町村の状況から考慮しますと、ご提案の扇風機の設置が現実的と考えます。来年度から、各小学校に扇風機の設置を年次計画により実施したいと思えます。

マ・メールシステムの再検討をされては

問 子どもたちが安全に登下校できるよう変質者情報などを伝達できるよう小学校では携帯電話メールによるマ・メールシステムが実施されています。しかし、マ・メールは小学生の

いない家庭には配信されず、情報の広域化ができず、共有化も遅れることが予想されることから、マ・メールシステムの再検討をされてはと考えます。

安田教育長 このシステムは、中学校には導入されています。これまでの、安心メールについては、情報の伝達に時間を要し、タイムリーな伝達ができなかったことから、現在のマ・メールの導入に至っています。今後、更なる情報の共有ができる方策を研究し、進めてまいりたく存じます。

子宮頸がんワクチンの公費助成を

問 ワクチン接種は、健康保険がきかないので予防に必要な3回の接種にかかる費用約5万円は自己負担が原則となっていました。厚生労働省が公費助成に向かっていますが、町においても、来年度から公費助成へ向けた取り組みをされるよう要望するものです。町長のご所見をお伺いしたい。

平岡町長 来年度の実施に向けて医師会と具体的な協議に入っています。接種対象年齢が十代前半のため事前研修の実施や若年層の子宮頸がん受診率が低いことから、接種後の検診が必要であることの研修会を来年一月に実施する準備を進めています。